

平成 27 年度 第 2 回安曇野市健康づくり推進協議会 会議概要

1	会議名	安曇野市健康づくり推進協議会
2	日時	平成 27 年 11 月 18 日 午後 1 時 30 分から午後 2 時 40 分まで
3	会場	穂高健康支援センター 問診計測室
4	出席者	武井委員、石田委員、山本委員、石川委員、熊井委員、矢澤委員、藤原委員、望月委員
5	担当課出席者	宮下部長、宮下課長、高橋センター長、丸山課長補佐、中澤課長補佐、飯田係長、久保田係長、松澤係長、布山係長、大池歯科衛生士
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0 人 記者 0 人
8	会議概要作成年月日	平成 27 年 11 月 20 日

協 議 事 項 等

【協議事項】

- 1 平成 28 年度保健事業計画について
- 2 今年度新規事業中間報告について
- 3 感染症対策について
- 4 その他

【会議概要】

- 1 平成 28 年度保健事業計画について
  - 母子保健事業重点目標及び事業予定について資料に基づき説明
  - 成人保健事業重点目標及び事業予定について資料に基づき説明
  - 健康づくり事業重点目標及び事業予定について資料に基づき説明
  - 感染症予防重点目標及び事業予定について資料に基づき説明
  - 地域医療体制整備重点目標及び事業予定について資料に基づき説明

【主な意見】

- 母子保健事業重点目標及び事業予定について
  - (委 員) 育児支援教室に代わる育児支援相談ですが、対象年齢はどれくらいまでですか。
  - (事務局) 3 歳前後までのお子さんを想定していますが、特に年齢を区切ることは考えていません。例えば、保育園に入ってもお母さん自身が不安であれば相談対象としたいと考えています。
  - (委 員) その子が小中学校へ進んでいった場合はどうなりますか。
  - (事務局) 小中学校までは想定していません。育児支援教室の対象者が 3 歳前後なので、この形に変えていきたいと思っています。
- 成人保健事業重点目標及び事業予定について
- 健康づくり事業重点目標及び事業予定について
  - (委 員) 「健診こよみ」というのはどういうものを考えていますか。
  - (事務局) 年間の健診(検診)日程とそれぞれの健診(検診)の目的を細かく記したもので、3 月末位に広報の新聞折り込み又は郵送で全戸配布されます。
- 感染症予防重点目標及び事業予定について
- 地域医療体制整備重点目標及び事業予定について

(委員) 高齢者インフルエンザ予防接種ですが、通知を出した件数に対する実施率はどのような状況ですか。

(事務局) 今年度は実施中なのでまだわかりませんが、平成 26 年度実績では概ね 7 割の接種率です。多くの方が接種されていると評価しています。

(委員) 多くの方という評価のようですが、接種率をこれ以上高めようという考えはありませんか。

(事務局) 乳幼児の予防接種の接種率が 9 割を超えているのと比べると、高齢者インフルエンザについては少し落ちるといえます。しかし、こちらは個人負担が発生することと、毎年接種する必要があるということから、一度接種すれば終わりという乳幼児の予防接種のように 9 割を超えるということは難しいかと考えています。

(委員) いずれにしても、接種率を向上させるというより、7 割の状況を維持するという考え方がですね。

(事務局) 接種率は僅かずつではありますが上昇していますが、9 割というのは難しいと考えています。できるだけ多くの方に受けていただきたいと思っていますが、個人負担があるので無理強いはできません。一方、単価が上がっている現状で個人負担も併せて上げるとなると接種率が下がってしまうという懸念もあり、単価上昇に対しどうするかは市としての課題です。

(委員) 接種率向上のため、1,000 円という個人負担を下げるという考えがあるかということを知りたかったのですが。

(事務局) 現場サイドでは個人負担が下がれば接種率向上につながると思うので要望は出していきたいと思えます。なお、中信地域では松本市及び塩尻市が 1,000 円です。他の地域では既に 1,500 円に上げることを検討しているところもありますが、この地域では当市が他より高いということだけは無いようにしたいと考えています。

(委員) 個人負担金を上げなければならないというのが現状なのですね。

(事務局) 財政上の理由から、周辺地域でも新年度予算において個人負担金を上げることを検討しているところも出てきています。

(委員) わかりました。

(委員) 高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌の予防接種で最高齢接種者は何歳くらいですか。

(事務局) 正確には承知していませんが、施設に入所されている方も対象ですので、90 歳代の方もいらっしゃると思います。また、入所されていない方でも高齢の方は結構いらっしゃいます。

(会長) 高齢者インフルエンザ予防接種は年齢に上限はありません。他の予防接種と違うのは、個人の判断で接種していただくということで、それが 7 割という数字になっているわけですね。また、今年は 1 価分単価が上がっており、去年の単価は 4,035 円でしたが、今年は 650 円上がっています。その分を市が負担している訳で、対象者が何万人もいることを考えると市の負担は非常に大きくなっているということです。

(委員) 市でいくつかの体操教室を開催しており、そこで体力測定を行っていますが、担当部署がバラバラで、体力データが経年で見られる状況になっていません。そこで、お願いですが、少なくとも去年と今年とで結果がどう変化しているかを見比べた上で指導していただくことが非常にいいことだと思いますので、データを蓄積していただくとありがたい。担当部署が違うのでデータのやりとりが難しいとは思いますが、それでも、個人に対してデータの変化を見て指導するという形をとってもらえれば、その人にとって有効だと思うので、来年間に合わなくともできれば検討していただければ、体操教室へ参加している身としては助かるなと思います。これはお願いです。

(委員) 補足したいのですが、それを実行するには、市の運動指導士は 1 人だけなので難しい部

分があるんじゃないかと。市では健康指導士を増員する考えはありますか。

(事務局) 正規の職員は1人ですが、他にもお手伝いをお願いして体操教室を実施しています。新年度予算編成における基本目標で「健康長寿のまちづくり」が一番目に位置付けられたこともあり、保健医療部内職員が協力して事業に当たりたいと思っています。職員が増えて事業が実施できればいいんですが、この席では職員を増やせるかどうかということについては明確にはお答えできません。

(委員) 1人の運動指導に全て担当してもらわなくても、例えば私は今インターバル速歩の教室も受けていますが、その先生にデータを渡してもらえばいいと思います。個人情報ですが、事前に了解を取っておいて指導者間でデータをやり取りして、それを元に指導してもらえばいいのではと思います。

(会長) それはちょっと難しい面もあります。例えば、毎年インターバル速歩だけで同じ運動をされるのならそれは可能でしょうが、違う運動の場合は比較や評価は難しい。データをやり取りするなら運動教室を全部同じ方式で行うことを考えた方がより現実かと思えます。継続して評価できる方法を検討していただかなくてはいけないかなと思います。

(委員) ぜひ検討願います。

## 2 今年度新規事業中間報告について

○妊婦歯科健診について口頭で説明

受診率は、わかる範囲では3割半ば。

○若年者健診について口頭で説明

20～39歳が対象、12月中旬3日間で300人を予定しているが、申し込みは現在222人。

### 【主な意見】

なし。

## 3 感染症対策について

○安曇野市の感染症対策について、新型インフルエンザ等対策について資料に基づき説明

### 【主な意見】

(委員) このことについては現在検討中ですが、ワクチンが通常どおり入ってくるかどうか。実際、接種し始めるのは作り始めてから半年位後だと思います。大体20人分位のアンプルで来るものですから、小さな施設で接種するのは難しいので集団接種になるのではないかと思います。また、3市5村の関係がありますからなかなか対策が進まないかとは思いますが肅々と決めていきたいと思っています。

## 4 その他

○心の健康を考えるつどい

12/5(土) 午後1時30分から、豊科ふれあいホールで開催

○市歯科医師会から出前講座の案内

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。